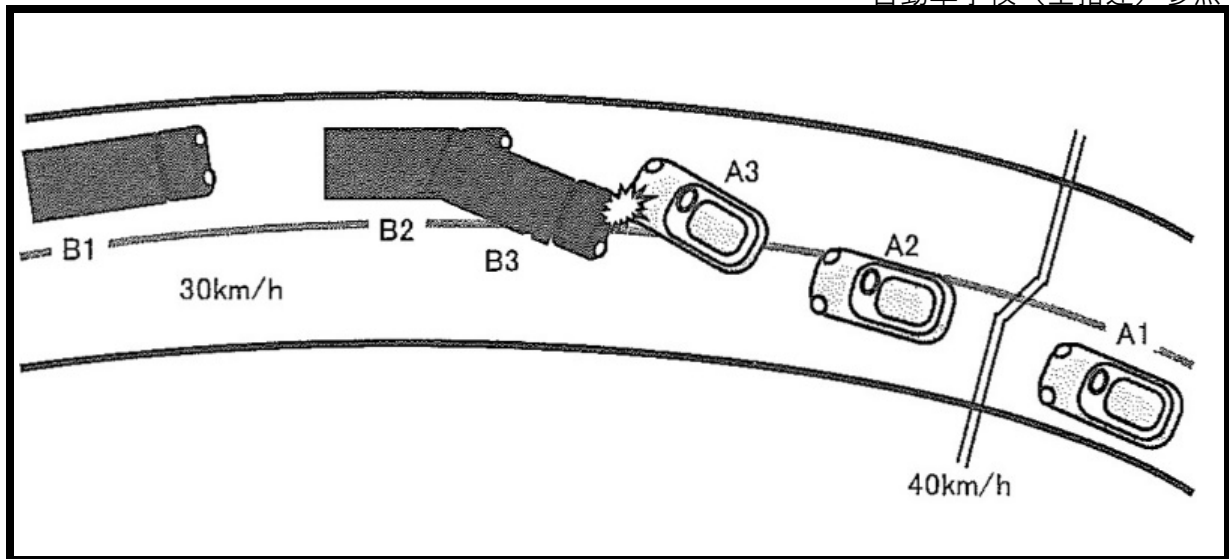


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：正面衝突

発生日時：5月 午後4時30分頃 晴れ

当事者A：普通乗用車 30歳代 男性

当事者B：トラック 70歳代 男性

■ 事故の概要

Aは見通しの悪くない左カーブを時速約40kmで走行中、対向車などは見えなかったために油断し、後部座席の3人の子どもが騒ぐので、注意しようと子どもの方に視線を向けました。そのため中央線をはみ出したことに気付かず、前方に視線を戻したときには約25mのところに対向車のB車を発見し、慌てて急ブレーキをかけ、右にハンドルを切りましたが間に合わず衝突しました。

Bは緩やかな右カーブにさしかかったので時速約30kmに減速しました。対向車のA車が約30mくらいの距離になったとき、急にセンターラインをはみ出してきたので急ブレーキをかけてハンドルを右に切りましたが、避けきれず衝突しました。

■ 事故から学ぶ

運転者が同乗している子どもが騒ぐのに注意を奪われたというのは、事故類型を問わず比較的多い要因です。まずはチャイルドシートの使用が大原則です。

また、脇見は多くの事故の原因です。車両運転中は運転に集中することが大切です。